

カリフォルニア大学とサンフランシスコの反アジア人種的動機による攻撃に関する声明

2021年2月25日

ベイエリアコミュニティの皆様へ：

アジア系アメリカ人および太平洋諸島の住民コミュニティに対する脅迫が驚くほど増加しています。つきましては、カリフォルニア大学およびサンフランシスコ校（UCSF）では、これらの人種差別に起因する攻撃を強く非難しています。

2020年にパンデミックが始まって以来、陰謀説や外国人嫌いを推進する人々に刺激されて、全国的に反アジア感情が急増しており、現在不穏な状況が再開してしまっています。これらのコミュニティに対する人種的暴力や嫌がらせはこの数週間で急増しており、ベイエリアに住む私たちの中で最も脆弱な人々である高齢者の方々も被害に合っています。悲惨にも、84歳のタイ人男性がサンフランシスコで致命的な攻撃を受け、91歳の男性がオークランドのチャイナタウンで攻撃を受け、重傷を負いました。

UCSFでは、アジア人、太平洋諸島の住民、黒人、ラテンアメリカ系住民、アメリカ先住民およびその他のコミュニティに対するあらゆる形態の反人種差別に取り組んでおり、私たち皆が立ち上がり、声に出すことを要求しています。[カリフォルニアアジア太平洋島民立法党員集会](#)と団結し、当団体に参加することで、これらの不正に呼びかけ、他者を保護しています。

私たちは、バイデン大統領による、アジア系アメリカ人および太平洋諸島の住民コミュニティへの一層の保護、およびパンデミックに伴う人種差別や外国人嫌いの波を非難する大統領命令を称賛します。

UCSFでは、[反人種差別イニシアチブ](#)を通じて、UCSFコミュニティ内および私たちが奉仕する特権のあるコミュニティ内にて、有色人種および過小評価されているグループのすべての人々を支援し、構造的な人種差別を廃止するための連携作業を継続します。

アジア系および太平洋諸島の住民コミュニティの皆様にとっては困難で恐ろしい時だと思えます。[アジア人カウンセリングおよび紹介サービス、またはACRS](#)を始めとする私たちのネットワークや団体から、必要に応じてぜひサポートを受けてください。皆様の安全を確保するために、UCSFの警察署が提供している下記のガイダンスを共有させていただきます。

- 不審者には十分に警戒してください。何か怪しいものを目撃した場合は、911に連絡してください。
- 特に夜間は、できるだけ常にグループで行動してください。
- 夜間は、薄暗い場所や人けの少ない場所は避けてください。
- ご自身の周りに警戒してください。歩いている時や、一人で待っている時は、ヘッドホンや携帯電話の使用は避けてください。
- 車に向かって歩くときは、できれば手の中など、車の鍵をすぐ取れるようにしてください。
- 誰かに後をつけられている気がする場合は、開いている店に入り、助けを求めてください。
- 緊急電話番号をご自身の携帯電話に事前登録しておいてください。
- 特に武装している相手から金銭や所有物に対する要求があった場合、ご自身の安全のためにその要求に従ってください。

私たちの国やコミュニティにおける人種差別、差別および偏見に立ち向かうことに努めているので、最近起きているこれらの出来事にもくじけないと決心しています。代わりに、より公平で包括的な社会をもたらすために取り組んでいるように、お互いのケアをしていけるよう、さらに努力していきます。

よろしく願いいたします。

Sam Hawgood, 医学士
UCSF 校長
Arthur and Toni Rembe Rock 特別教授

Mark R. Laret
代表取締役兼CEO
UCSF ヘルス

J. Renée Navarro, PharmD, 医学士
副総長、Diversity and
Outreach オフィス
チーフ・ダイバーシティ役員
臨床麻酔学と周術期ケアの教授